



H I M E K A N



姫路市医師会看護専門学校

VOL. 18

2022. 1 発行

キャンパスだより

学校長ご挨拶

「患者に寄り添える
心のエネルギーを蓄えられる学校へ」

学校長 山本 一郎



姫路市医師会看護専門学校の在校生の皆さん、そしてご父兄及び卒業生の皆さま、令和2年6月より前任の清水学校長を引継ぎました。新型コロナウイルス感染症拡大という終わりの見えない課題に、本校で学んだ1000名以上の卒業生が医療現場で患者の命を守り、心の支えになっています。在校生、また今後入学してくる新入生に期待をするとともに、現場で活躍する卒業生に感謝と誇りを感じています。

現在「コロナ禍」の中で、校内授業や臨床実習が計画どおりにはできなくなっています。こうした中で実習施設や非常勤講師の先生方には、ご配慮ご協力いただいたことに感謝いたします。人と人の接触を出来るだけ少なくする必要のある状況で、令和3年度入学生から本校ではiPadを使った教科書を使って授業を行っております。この取り組み以外にもコロナ禍の中で継続して授業を続けていくことが可能となる様、多くの課題に取り組んでまいります。

将来看護師になる当校の学生には、在校中に患者の心のケアを大切に、優しい心のエネルギーを蓄えてもらう事を期待しています。人のために役に立っていると自覚できる経験も、こうした心のエネルギーを蓄えるためには重要と考えています。コロナ感染症拡大防止のため、学生の行動は学校での授業や実習以外にも制限を受けています。人と人の接触が少ない中で、授業や実習だけでなく学校生活や教員とのコミュニケーション力を学校全体として高めていく事も大切と思えます。当校を巣立った優しい患者に寄り添える学生が、地域医療で活躍する事を期待しています。

学 校 行 事 の 記 録

令和3年度 オープンキャンパス

8月10日、11日、12日にオープンキャンパスを開催しました。3日間を通して235名の方が参加されました。

昨年と同様、新型コロナウイルスの感染予防のため、受付時には問診や体温チェックを行いました。来校者のみなさまに安心して参加していただけるよう、在校生・教職員ともに入念な準備を行いました。当日は参加者のみなさまのご協力もあり、無事に終えることができました。



今回のオープンキャンパスは3密を避けるため直接的な看護体験をしてもらうことが難しいことから、“見学”の内容を充実させました。模擬授業の聴講体験、看護技術の実演見学、在校生の学習成果物の展示見学、情報処理室や図書室などの施設見学を実施しました。

参加者からは、「パンフレットでは分からない実際の学校生活が想像できた」「難しい内容もあったけど先生や生徒の方が優しく丁寧に説明してくれて分かりやすかった」「設備が良くて充実している」などの感想をいただきました。

また、直接在校生に質問できる“相談コーナー”では、「先輩方が親身に話を聞いてくださってとてもうれしかった」「詳しく話を聞いて良かった」などの感想をいただき、在校生が大活躍のオープンキャンパスとなりました。



◆当日プログラム◆

- カリキュラムの概要説明
- 2022年度入学試験概要説明
- 学生プレゼンテーション
「学校生活をのぞいてみよう」
- ミニ模擬授業
10日「赤ちゃんの産声とは？」
11日「体温ってなに」
12日「感染予防
～手洗いが人類を救う！～」

●看護演習見学・施設見学

- 第1看護実習室「心音・呼吸音・心電図」
- 第2看護実習室「BLS・輸液ポンプ」
- 第3看護実習室「吸引モデル、小児モデル」
- 第4看護実習室「沐浴」
- 在宅看護実習室「車いす、リフトなど」
- 情報処理室・図書室見学

●相談コーナー

- 在校生や教職員に直接質問・相談してみよう

第17回 天姫祭 「Save our Smile」～広げよう笑顔の輪～



10月22日(金)、第17回天姫祭を開催しました。今年も昨年と同様、新型コロナウイルス感染症予防のため、外部の方はお招きせず、在校生と教職員のみで行うこととなりました。

今年为天姫祭は、ダンスや演劇などを披露するクラス発表と、学習の成果を発表する文化発表の2部構成で行いました。

クラス発表

- 1-A 手話とダンス
- 1-B 手話とダンス
- 2-A 演劇「桃太郎～コロナ編」
- 2-B 英語の歌と AED を使った心肺蘇生術
- 3-B クイズ DE BINGO!

有志発表

- 2-B ピアノ演奏
- 1-A 手話
- 3-B ビデオ動画
- 教職員 コントとフラダンス



事前撮影した動画を、クラスに分かれて視聴しました。



発表者と聴講者の両方を経験することにより、理解が深まりました。

文化発表テーマ

- 1年次
「SDGsについて」
- 2年次
「新型コロナウイルスについて」
「疾患別事例検討」
- 3-A
「領域別実習について」



今回の天姫祭は昨年同様本来の天姫祭を開催することが難しい状況でした。しかし、今年は「save our smile～広げよう笑顔の輪～」をテーマに新しい事に挑戦しました。それは、年次ごとに実習などで学んできた事を共有することです。また、SDGsの活動としてペットボトルのキャップ回収を行いました。キャップをリサイクルした対価が寄付され、世界の子供達にワクチンが寄贈されます。この活動を通じて笑顔の輪が広がることを願います。来年は、地域の方をお招きした天姫祭が行えるよう計画していきたいと思います。

第17回 文化祭実行委員長

山本 真那

文化祭開催1週間前から「天姫祭 week」と題し、ポスター大賞参加者作品の展示やワクチンが不足する国への支援につながるペットボトルキャップの回収活動なども行いました。

白血病や骨髄バンクについての説明や、パンの販売で、一部、外部の方にもご参加いただきました。ご協力いただいた皆様方、ありがとうございました。



学 業 の 記 録

関西看護学生研究大会 10月20日 web開催

3年次の河津莉菜さんが作成したパワーポイントと音声記録による発表を含め、各学校の発表がオンデマンド配信されました。2年次80名が視聴しました。

▶発表テーマ 認知機能が低下している高齢者に対する退院指導について

看護研究では、基礎看護学実習Ⅱでの患者さんとの関わりを振り返り、自分が行ってきた看護は患者さんにとって良い看護であったか文献を活用しながら分析することができました。

改めて、個別性に合わせた看護が患者さんの力を引き出せる事に繋がることが学べ、また、自分自身の看護観を見つめなおすきっかけになりました。これから、臨床で看護師として働くうえで患者さんがその人らしく生活できるような看護が提供できるように今回の経験を活かして頑張っていきたいです。

 3年次 河津 莉菜

実習を振り返って

私が基礎看護学実習Ⅰ-(2)で初めて臨地実習に行き行って学んだことは、コミュニケーションの重要性です。実習初日、私の問いかけに対し「大丈夫」や「仕方ない」ばかり言われる患者さんが、毎日コミュニケーションをしていくと、徐々に不満や不安をおっしゃってくださるようになりました。また、車椅子で散歩をしながら空を見たり、スキンシップをしながら会話をすると、患者さんは楽しかったことや今までのことを笑顔で話してくださいました。このようなことから、看護において日々のコミュニケーションは、とても大切であると実感しました。

 1年次 朽木 美杏

実習の始めは不安や緊張で、行き詰ったと感じたことがありました。しかし看護計画を立案しケアを実践した結果、以前と比べ患者さんの表情が明るくなり、前向きな発言が多くみられました。その時私は、コミュニケーションばかりを意識するのではなく、患者さんは今何を抱え、何を必要としているのかを考え、患者さんにとって良いケアをすることが患者さんとの関係を築いていく上で大切だと気づきました。この気づきを心に留め、これからの実習を頑張っていきたいです。

 2年次 前原 夏季

今年もコロナ禍での実習となり、制限はありましたが臨地に行くことができました。その中で印象に残ったのが、在宅看護論実習です。訪問看護師が退院後に必要な情報をカルテだけでなく、病棟看護師と情報共有されている場面が印象に残っています。入院中から退院後を見据えた継続した看護を行う大切さを学ぶことができました。実習で学んだことを活かし国家試験に向けて頑張っていきたいです。

 3年次 熊野 菜穂

3年次へ
教員よりメッセージ



第111回 看護師国家試験受験に向けて

専任教員 森元 尚子

2021年11月25日、臨地実習が終了しました。今年度の実習も、コロナ禍の中感染予防対策を講じての実習でした。国家試験に向けての学習については、2年次からコツコツと問題集の学習を継続して来ました。しかし、実習中は、実習と国試に向けての学習を並行させることは難しかった時期もあったかと思えます。

いよいよ2022年2月13日、第111回看護師国家試験を受験します。3年間夢に向かって頑張ってきた成果が試されることを期待し、前年度同様、全員合格を教職員一同お祈りしています。

ご支援いただきました皆様、2月まで引き続きご協力よろしくお願い致します。

セミナー、研修会開催のご報告

看護力アップセミナーを開催しました。

本セミナーは、医療現場で活躍されている看護師のスキルアップ、看護学生の国家試験合格を目指した学外研修、休職中の看護師の方の職場復帰に向けた支援を目的として開催しています。

今年度の年間テーマは「フィジカルアセスメントについて」でした。3日間のセミナーを1期とし、全2期（第1期 開催日：7/3(土)、10(土)、17(土)・第2期 開催日：11/27(土)、12/4(土)、11(土))のセミナーを開催しました。

第1期【参加者28名・本校で開催】

第1期は、バイタルサインを基軸に、そこから行う臨床判断や症例の解説、フィジカルアセスメントの基本技術（問診・視診・触診等のポイント）についての講義でした。

参加者からは「バイタルサインだけでここまで知ることができるなんてビックリした」、「前回の復習を行いながら講義してくださったのが良かった」、「現場に戻って業務をする中で忘れていた基本技術を行うことができた」、「フィジカルアセスメントから症例を含めて、早期の対応をしていくことの大切さを学んだ」などのご感想をいただきました。

第2期【参加者14名・1、2回目は本校で開催。3回目は姫路メディカルシミュレーションセンターひめ MARIAで開催】

第2期は、脳神経フィジカルアセスメントの進め方や、シミュレータを用いた観察、測定、アセスメントの結果から看護ケアを考える講義でした。

参加者からは「脳神経のフィジカルアセスメントについて1つ1つ振り返ることができた」、「疾患に対してグループワークができ、他の参加者の視点がとても新鮮で色んな考え方を学ぶことができた」、「シミュレータを用いて実際にフィジカルアセスメントを行えたのが良かった」、「再就職に向けてもう一度、バイタルサインについて考えるきっかけになった」などのご感想をいただきました。

第19回 看護師生涯教育研修会を開催しました。

6月26日(土)、第19回看護師生涯教育研修会を本校で開催しました。

今年度は「エンド オブ ライフ ケア ～看護師として患者と家族の“生きる”をどう支えるか～」を年度テーマとし、「がん患者のこころのケア ～患者とのコミュニケーションのとり方～」について、宝塚市立病院 緩和ケア病棟 チャプレン・カウンセラー 沼野 尚美氏にご講演いただきました。

コロナ禍ではありましたが34名の方が参加され、「お話に引き込まれ、あっという間の研修会でした」、「具体的な例やどうしたら良いのか対応を話して下さって、とても参考になりました」、「逃げずに患者さんの思いをきくこと、大いに向き合うことを学びました」などのご感想をいただきました。



第 20 回 看護師生涯教育研修会のご案内

今年度の年度テーマは「「エンド オブ ライフ ケア」ー看護師として患者の家族の「生きる」をどう支えるかー」です。

卒業生の皆様にはこの研修会が同窓生との交流の場としても利用していただけたらと考えております。是非ご参加ください。

【テーマ】「在宅における看取りの実際」

講師：特定非営利活動法人 訪問看護ステーションひなた 理事長 金居 久美子 氏

【日時】令和 4 年 2 月 26 日（土） 午後 2 時 30 分～4 時 30 分

【場所】姫路市医師会看護専門学校 体育館兼講堂

【お申込】本校ホームページの申込フォームより送信、または同封チラシ裏面申込書を FAX でお送りください。

職員インタビュー

「続けていること or 新しく始めたこと」を教えてください！



QOL を高める為に趣味のカメラとキャンプに興じ、SNS でフォロワーと共有して楽しむようにしています。最近では、より楽しく生きるため Live2D 技術を用いたご当地キャラグループ「ヒメカツ！」という遊びを始めました。ホームページも作り姫路市の気になった情報や写真を発信しています。

また、昔学んだ知識の勘を頼りにバーチャル SNS cluster で遊べるバーチャル姫路城を制作している最中です。楽しい事が無いなら自分で作るという心掛けは大切ですね。

学校事務課 岡田 健嗣



編集後記

令和 3 年中に実施したセミナーや研修会には、卒業生の方たちにも多数ご参加いただきました。みなさんが現場で活躍されていることを嬉しく思います。学校の図書室を訪れた卒業生は、令和 2 年度が 59 名、令和 3 年度が 24 名（令和 3 年 12 月 16 日現在）（いずれも延べ人数）です。看護研究・ケーススタディなど、臨地においても文献を利用した学習の機会があると思います。学校は卒業生のみなさんにも開かれた場所です。文献探だけでなく、仕事のこと、プライベートのこと、困っていることなど、何でも話しに来てください。教員、職員ともみなさんの来校を歓迎します。最後になりましたが、本誌作成にあたってご協力いただいた皆様に心より感謝申し上げます。

◆ 卒業生の皆様へ 住所変更・氏名変更届出のお願い ◆

住所やお名前に変更があった場合、本校までお知らせください。本校ホームページの「卒業生」の表示をクリックし、「お問い合わせ・住所変更にもなう届け出について」より、入力・送信してもらうだけで簡単に届け出ができます。学校に来られた際、学校事務課への申し出により届け出することも可能です。

掲載記事募集

この「HIMEKAN」に掲載する記事を募集しています。卒業生のみなさんにお知らせしたいこと、伝えたいこと、がんばっていること等なんでもかまいません。様式は問いません。掲載内容と名前、住所、連絡先を記入して、学校まで送付してください。もちろん、持ち込みも OK です。



●● 発刊元 ●●

姫路市医師会看護専門学校
学校事務課

〒670-0074

姫路市御立西五丁目 6 番 22 号

Tel 079-298-1241 (代)

Fax 079-298-6876

ホームページ <http://himeji-kango.jp>